＜巻頭言＞

# 未成年者への喫煙対策

谷畑健生

国立保健医療科学院疫学部応用疫学室 主任研究官

# Comprehensive Tobacco Control Programs to Reduce Tobacco Use among Youth

Takeo TANIHATA

Section of Applied Epidemiology, Department of Epidemiology National Institute of Public Health

(Enheten for Infektionssjukdomar, Institutionen for Medicin,
Karolinska Universitetssjukhuset, Karolinska Institutet, Sweden)

ストックホルムの西，素敵な町Östermalmの軽い坂道を，あなたは散歩しています．ふと“Kaffe”に目をやると素敵な女性（または男性）がぼんやりとテラスに一人座っています．あっという間に一目惚れ状態です（その恋は，視覚によるものなのか，主要組織適合抗原複合体による嗅覚によるものなのか，ここでは問いません）．あなたはどうしても勇気を出して話しかけたくなってしまいました．見るとその人は右手に次のような小道具を持っています．あなたはその相手をどのように感じますか？

A. 湯気の立ったコーヒーカップ
（江國香織，辻仁成あたりの小説の登場人物なら誰でもよい）

B. メンソール系のたばこ
（村上春樹「羊をめぐる冒険」の登場人物に出てきそう）

C. 細巻きの葉巻
（村上龍「エクスタシー」の登場人物あたりでしょうか）

あなたがその女性の小道具に，何も影響を受けずに話しかけることが出来る方なら，この特集を読んで時間を無駄にするよりも，これまでどおりの有効な喫煙対策を続けていただければよいかと思います．

もしあなたが佇む女性（または男性）の右手を見て，例えば，Aなら猪突猛進，Bならちょっと警戒し，Cなら考え込んでしまう，という方はこの特集を是非読んでください．

たばこを吸う本人に対しては依存を生じさせるものではありますが，たばこを吸う人を見ることによって，見た人はなんらかのメッセージを受け取ることになります．受け取ること自体が，われわれの文化の一部です．たばこがどれほどわれわれの文化に浸透しているかについて，尾崎米厚博士と村田陽平博士が独自の視点でアプローチしています．尾崎博士は漫画雑誌の漫画の登場人部には非常に多くの喫煙シーンがあることを量的なアプローチによって明らかにし，また村田博士は，あるたばこ広告のシリーズを分析し，共通する概念がわれわれに影響を与えている可能性があることをみごとに質的に分析しております．

喫煙対策は，疾病予防対策の一環と保健医療従事者は考えておりますが，実はわれわれの文化を変化させるものです．文化を変化させるためにはそれなりの覚悟，知識，代償が必要かと思います．

「じゃ，未成年者のたばこ対策はどうするんだ！」とおしかりを受けるかと思いますが，未成年者への喫煙対策のアプローチの方向性や，変化させた文化をどのように調整するのかは，本特集の執筆者らは，それとなく指し示しています．